

## 自分自身で学びを調整できる子供に！

校長 山田 吉夫

11月10日(木)の学校保健委員会では、カラーセラピストの南澤響子先生を招いて、御講演をいただきました。赤と黄色と青、自分が気になる色と思考の特徴が見事に一致し、自分自身の考え方を客観的に眺める良い機会となりました。自分自身では、それほど偏った考えは無いと思いついていましたが、いろいろな思考の特徴を聞いていくうちに、人の考え方というのは、やっぱりどこかに偏るものだとして初めて気付かされました。そして、これまでの子供たちへの関わり方を振り返りながら、いろいろと反省させられる講演でもありました。

さて、最近よく耳にする言葉で「過干渉」という言葉があります。特に親子関係で使われる言葉です。子供が失敗しないように先回りして、親の意向を押しつけてしまうような状態です。経験豊富な親にとっては、子供の先々の様子まで想像してしまうので、ついつい口出ししてしまいたくなるものです。私自身も含め、どこの家庭でもよくある話だとは思いますが、この状態が長く続けば、子供にどのような悪影響が出てくるのか、だいたい想像できるのではないのでしょうか。

例えば、いつも問題ばかり指摘され続けると、自己肯定感が下がってしまうようなこと、また、物事を自分で決められないので、何をやるにしてもやる気が出ないようなことなどが考えられます。さらに、子供が失敗しないように常に配慮しているため、他人から叱られる経験もなく大人になってしまいます。もし、将来仕事でミスをしたとき、それに対処するだけのメンタルが育っているかどうか心配です。

人は、失敗から学ぶことも多いとよく言われます。自他の生命に関わる失敗は絶対に避けなければなりません。小さな失敗は、成長の一步に繋がるのかもしれませんが、とにかく、自分で決めて行動するという経験が、子供たちにとって重要であるということは言うまでもありません。

先日、11月17日(木)は、大島地区の特別支援教育研究大会奄美市大会が、本校を会場にして実施されました。本校では、児童自身が授業を進めるということにも取り組んでいます。自分自身で学びを調整できるようにするだけで、子供たちのやる気は全く別物になるということも実感できました。これからも、さらに子供たちのやる気と自信を育てていけたらと思います。

## 人権教室

伊津部小学校は毎年、1・3・5年生が人権擁護員をお招きした人権教室を行っています。今年は11月28日に行いました。DVDのアニメをとおして学んだり、講師の先生のお話を聞いて人権について考えたりしました。発達段階に応じた内容で授業を展開していただき、参加した一人一人が人権について真剣に考える機会になっていました。



## 大島地区特別支援教育研究大会

11月17日に標記の大会が伊津部小学校にて開催されました。4年生の児童の皆さんが、およそ70名もの先生方に見守られながら算数の授業に臨みました。自ら考え、生き生きと活動する姿は来校された多くの先生方から称賛されていました。4年生、よく頑張りました！



# 学習発表会

11月12日の土曜授業にて学習発表会を開催しました。低・中・高学年分かれての発表会となりましたが、どの学年も観る人の心を揺さぶる素敵な発表でした。



1年 大きなかぶ・おむすび  
こりいん・かすこわんじ・くじら  
ぐも



2年 やぐくん・お手紙・そう  
だ村の村長さん・サチアし



3年 奄美の宝



4年 目指せ！  
伊津部のスーパーヒーロー



5年 結の心  
さとうきびからの贈り物



6年 今がんばっていること  
～未来への道～

## 交通安全教室

11月8日に3～6年を対象とした交通安全教室を行いました。テーマは「自転車」。点検の仕方や、仮設コースにおいての自転車運転で気を付けることを学びました。安全意識を高められた活動となりました。



## 読書祭り

11月24日に校内読書祭りを行いました。今年もPTA読書委員会に大変お世話になりました。ピアノのBGM付きの大型絵本の読み聞かせは、学年問わず子供たちの心に響くものでした。

後日、司書の中先生から『100万回生きた猫』の本、ありますか？』の問い合わせが複数あったと聞きました。これからも、たくさん本に親しむ伊津部の子であってほしいです。



## 秋の一日遠足

春に実施できなかった一日遠足ですが、11月18日に秋の一日遠足として実施することができました。



【1・2年】大浜海浜公園



【3年】大島酒造・自然観察の森・りゅうゆう館



【4年】奄美市立博物館・大島紬村  
・りゅうゆう館・クリーンセンター

